

<別紙>

イントラ報告システムの導入にあたっての留意事項

I. イントラ報告システムの適正運用

1. イントラ報告システムとは、と畜場、家畜商、家畜市場、育成牧場及び大規模農家などにおいて牛の異動報告を正確かつ迅速に行うために推奨のスマートフォンやハンディターミナルを用いて耳標などのバーコードを読み取り、イントラネット(SSL-VPN、IPSec-VPN、CUNetsなど)を利用して、家畜個体識別センターへ報告するシステムです。

2. スマートフォンやハンディターミナルに読み込んだ個体番号について、パソコン上で履歴情報などを一括して検索できます。

このイントラ報告システムは、異動報告を簡便化したシステムですので、頭数が多い場合、もしくは、毎日異動報告が発生する場合に最適です。

出生報告あるいは少数の異動報告、イントラネットを利用出来ないJAなど団体による農家代行報告などには、LO(ローカルオフィス)システムの導入をお勧めします。

LOシステムとは、PC上で出生報告および異動報告を手入力し、その入力データをインターネットE-Mail(電子メール)添付機能を使用して報告するシステムです。

II. イントラ報告システム導入の前提条件

1. 利用者側の態勢について

(1) 当資料内で説明するパソコン(OSや通信ポートなど)、通信環境(インターネットサービスプロバイダ、回線、機器など)の設定については、原則として利用者側で行っていただきますので、身近にこれらに詳しい方がいることが前提となります。

システムの導入に際して必要な条件を確認するためのチェックシートを用意していますのでお問い合わせください。

2. パソコンの処理能力などについて

(1) 対応OSは Windows Vista、Windows 7(32bit、64bit)、Windows 8、8.1(32bit、64bit)、Windows 10(32bit、64bit)です。

パソコンについてはそれぞれのOSの稼動条件を満たすメモリ容量とハードディスク容量を搭載している必要があります。

3. 通信ポートについて(各機器の詳細については後述します。)

(1) パソコンに取り込んだデータを家畜個体識別センターに報告するために、イントラネットへの接続が必要ですが、その方式により以下の環境が必要です。

SSL-VPN、IPSec-VPNをご利用の場合:

「ブロードバンドルータ」を繋ぐLANポートが必要です。

CUNetsをご利用の場合:

「ターミナルアダプタ」を接続する通信ポートとしてRS232CポートもしくはUSBポー

トが必要です(ターミナルアダプタ、パソコンの仕様、OSなどに応じて利用できるポートが異なります)。

- (2) ハンディターミナルで読み込んだデータをパソコンに取り込むための「赤外線アダプタ」を接続するRS232CポートもしくはUSBポートが必要です(赤外線アダプタ、パソコンの仕様、OSなどに応じて利用できるポートが異なります)。
- (3) スマートフォンで読み込んだデータをパソコンに取り込むために「Bluetooth通信装置」が必要です(スマートフォン、パソコンの機種によっては内蔵しているものもあります)。

4. 通信回線について

- (1) イントラネットの方式に応じた回線が必要です。

SSL-VPN、IPSec-VPNをご利用の場合:

ブロードバンド回線(光、ADSLなど)が必要です(地域によって利用できる回線の種類や速度などを制限されることがあります)。

尚、既にお使いの回線の転用、併用においては、ご利用になれない場合があること、あらかじめご承知願います。

CUNetsをご利用の場合:

ISDN回線(INS64)が必要です。

5. ネットワーク利用料金について

- (1) SSL-VPN、IPSec-VPNをご利用の場合、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。インターネットサービスプロバイダごとの料金体系に応じた利用料金がかかります。

また、一社)家畜改良事業団が用意し運営するSSL-VPN、IPSec-VPN関連の機器、ソフトウェアの利用料についてご負担いただく場合がありますので、あらかじめご承知願います。

- (2) CUNetsをご利用の場合、加入手続きが必要です。加入後は毎月使用の如何にかかわらず利用料金がかかります。

- ・CUNets新規加入料:2,000円程度
- ・CUNets月額費用:500円程度(月内利用可能時間1時間以内の場合の最低月額。他にもプラン設定あります。)
- ・利用可能時間を超過した場合、7円/分の追加料金が発生します。
- ・プラン変更は変更手数料がかかります。(1回毎1,000円程度)
- ・アクセスポイントまでの通話料金は有料となります。

尚、業者への加入手続きについては、一社)家畜改良事業団経由で行います。

一社)家畜改良事業団より新規申込書をお送りしますので、必要事項を記入の上ご返送ください。

6. 機器について

- (1) 機器の購入、修理は自己負担です。
- (2) 機器のセットアップ、障害対応に必要な当団との間の機器の輸送にかかる費用はすべて利用者負担となります。メーカーとの間の機器の輸送については各メーカーにご確認ください。
- (3) 利用形態に応じて、以下の機器が必要です。

- SSL-VPN、IPSec-VPNをご利用の場合「ブロードバンドルータ」が必要です。
また、無線(WiFi)対応のハンディターミナルをご利用の場合は対応するブロードバンドルータもしくは別途、無線アクセスポイント専用機などが必要です。
- CUNetsをご利用の場合「ターミナルアダプタ」が必要です。パソコンのOSによって使えるターミナルアダプタ製品が限られますので、事前に(社)家畜改良事業団までお問い合わせください。
※パソコンのOSがVISTAまでの場合、対応するターミナルアダプタを貸与できますのでご相談ください。
- 耳標などのバーコードを読み込んで入力する場合、「ハンディターミナル」または「スマートフォン」が必要です。

ハンディターミナルには事業開始の利用機器の後継機に当たる「ARK-7000」(アルファ製)と、画面のタッチ操作や無線(WiFi)通信に対応する「Pocket@iEX」(NEC製)とで動作するシステムを用意しています。以上の推奨ハンディターミナル以外での動作確認、検証は行っておりません。ついては、他のハンディターミナルをご使用された場合の不具合やバーコードの読み取りエラー等については当団のサポート対象外であることを、あらかじめご承知願います。

また、ハンディターミナルとパソコンとの通信には「赤外線アダプタ」が必要です。パソコンのOSによって使える赤外線アダプタ製品が限られますので、事前に(社)家畜改良事業団までお問い合わせください。

スマートフォンはアンドロイドOSのバージョン2または4を搭載した機種に対応しています。他のバージョンのOSを搭載した機器での動作確認、検証は行っておりません。ついては、他のバージョンのOSを搭載した機器でご使用された場合の不具合やバーコードの読み取りエラー等については当団のサポート対象外であることを、あらかじめご承知願います。

また、スマートフォンとパソコンとの通信には「Bluetooth通信装置」が必要です。装置を内蔵するパソコンやスマートフォンもありますが、機種によって通信できない場合がありますので、事前に(社)家畜改良事業団までお問い合わせください。

また、スマートフォンの内蔵カメラでバーコードを読むことができますが、より精度よく読むためにはBluetooth通信に対応したバーコードスキャナの併用をお勧めします。対応する機種が限られていますので、事前に(社)家畜改良事業団までお問い合わせください。

7. ウイルス対策ソフトについて

- (1)最近、インターネットを経由してウイルスに感染をするパソコンが急増しています。ご使用のパソコンがウイルス感染した場合には、パソコンが正常に動作しなくなり、初期化、再セットアップなどが必要になる場合があります。

また、同じネットワーク上にある他のパソコン、さらには報告先のサーバなどに被害が及ぶ危険性もあります。

そのため、事前に市販のセキュリティ対策ソフトを購入、セットアップしてください。

スマートフォンについても同様の危険性がありますので、対策をお勧めします。

8. イントラ報告システムの仕様変更などについて【重要】

(1) イントラ報告システムのデータレイアウトなどが変更になることがあります。

本システムとリンクするシステムを各団体が独自開発していた場合、当方の変更に応じた独自開発システム側の変更は各団体で対応いただくこととなります。

その場合、独自開発システムについて当方では把握できないため、システムサポートなど、対応できないことを、あらかじめご承知願います。

9. イントラ報告システムのセットアップなど、ユーザサポートについて【重要】

(1) 原則として通信環境の構築、機器の接続、ウィルス対策ソフトなど、関連する市販ソフトのセットアップまでは利用者側にてご対応ください。

その後、一社)家畜改良事業団 情報分析センター 家畜個体識別センターのイントラ報告システム担当まで連絡をいただければイントラ報告システムのセットアップならびに簡単な操作説明などを行わせていただきます。

尚、限られた数の要員で全国のユーザーサポートに対応している都合上、事前に利用団体名ならびにご担当者名、セットアップ希望日をご連絡いただき、日程調整を行なった上での対応となりますので、ご承知願います。

(2) 一社)家畜改良事業団では、利用者と連絡を取りながら、遠隔支援にて各種設定を行いますが、遠隔支援でできない部分については現地でセットアップいただくこととなりますので、セットアップ作業の間は担当者が不在にならないようお願いいたします。(所要時間:2~3時間程度、(設定状況によってはさらに時間を要します。)

(3) イントラ報告システムについては、不具合の解消や機能の向上、そして稼動するパソコンのOSの移行への対応などを目的として適宜バージョンアップを行います。場合によっては操作性が変わったり、それまで利用できていた機器では利用できなくなる場合がありますので、あらかじめご承知願います。

また、誠に勝手ながら、サポート態勢の都合上、旧バージョンについてはサポートを打ち切らせていただく場合も有り得ますので、併せてご承知願います。

Ⅲ. イントラ報告システム導入における契約事項

1. イントラ報告システムを導入された場合には、ご報告を遅滞なく継続していただくことが必要です。事業の趣旨を十分ご理解の上お申し込みください。

2. 契約締結後であっても使用の見込みがない場合は、契約を解除し、システムの利用をお断りする場合がございますので、あらかじめご承知願います。

尚、その場合においても、購入いただいた機器、関係ソフトなどについて当方は一切の補償はいたしかねますので、併せてご承知願います。

当留意事項についてのお問い合わせは、以下までお願い致します。

一般社団法人家畜改良事業団 情報分析センター 家畜個体識別センター

TEL 0248-48-0592